

平成 29 年 2 月 22 日

石川県立大学 産学官連携学術交流センター  
福岡和夫 076-227-7566

## 石川県立大学「手取川濁水現象に関する研究報告会」の開催について

本学では、手取川上流域で一昨年に発生した山腹斜面崩落土砂による手取川の濁水現象をテーマに研究報告会を行います。関係機関と連携を図りながら、濁水現象がもたらす影響を継続的に監視し、手取川の流域環境に関する情報を地域住民の方々に向けて広く発信することを目的としています。

多数のご参加をお待ちしています。

### 記

- 1 日 時 平成 29 年 3 月 9 日 (木) 13:30~16:30
- 2 場 所 石川県立大学第 1 大講義室 K219 (野々市市末松 1-308)
- 3 内 容
  - (1) 開会の挨拶 学長 熊谷 英彦 (13:30~13:40)
  - (2) 報告内容 (13:40~16:10)
    - 題目① 「崩壊発生以降 2 年間の地形変化と植生復元の方向性」  
環境科学科 教授 柳井清治・准教授 北村俊平
    - 題目② 「宮竹用水沈砂池の堆砂特性と農地への土砂流出抑制効果」  
環境科学科 教授 瀧本裕士
    - 題目③ 「トミヨの生息状況モニタリングと保全対策の検討」  
環境科学科 准教授 一恩英二
    - 題目④ 「手取川懸濁物の沿岸海域への影響 1」  
環境科学科 准教授 百瀬年彦・教授 岡崎正規
    - 題目⑤ 「手取川懸濁物の沿岸海域への影響 2」  
環境科学科 教授 岡崎正規・准教授 百瀬年彦  
食品科学科 准教授 本多裕司
    - 題目⑥ 「土砂崩壊に伴う濁水が手取川扇状地の水循環に与えた影響」  
環境科学科 教授 高瀬恵次・准教授 藤原洋一・助教 長野峻介
  - (3) 質疑応答 (16:10~16:25)
  - (4) 開会の挨拶 環境科学科 学科長 岡崎 正規 (16:25~16:30)
- 4 対 象 一般県民 (聴講無料)
- 5 事前申込み 不要
- 6 問い合わせ先  
産学官連携学術交流センター 福岡 和夫  
TEL: 076-227-7566 FAX: 076-227-7557 E-mail: fukuoka@ishikawa-pu.ac.jp

# 手取川濁水現象に関する 研究報告会

日時

2017年 石川県立大学第1大講義室 K219

入場無料

3月9日 木 13:30—16:30

## 【報告テーマ】

「崩壊発生以降2年間の地形変化と植生復元の  
方向性」

環境科学科 柳井清治・北村俊平

「宮竹用水沈砂池の堆砂特性と農地への土砂  
流出抑制効果」

環境科学科 瀧本裕士

「トミヨの生息状況モニタリングと保全対策  
の検討」

環境科学科 一恩英二

「手取川懸濁物の沿岸海域への影響 1」

環境科学科 百瀬年彦・岡崎正規

「手取川懸濁物の沿岸海域への影響 2」

環境科学科 岡崎正規・百瀬年彦

食品科学科 本多裕司

「土砂崩壊に伴う濁水が手取川扇状地の水循環  
に与えた影響」

環境科学科 高瀬恵次・藤原洋一・長野峻介



# 手取川濁水現象に関する研究報告会 開催概要

【日時】 平成29年3月9日（木） 13:30 – 16:30

【会場】 石川県立大学第1大講義室 K219 （参加費無料）

## 【プログラム】

13:00-13:30 受付

13:30-13:40 開会の挨拶

石川県立大学 学長 熊谷英彦

13:40-14:10 崩壊発生以降2年間の地形変化と植生復元の方向性

環境科学科 柳井清治・北村俊平

14:10-14:40 宮竹用水沈砂池の堆砂特性と農地への土砂流出抑制効果

環境科学科 瀧本裕士

14:40-15:10 トミヨの生息状況モニタリングと保全対策の検討

環境科学科 一恩英二

15:10-15:20 休憩

15:20-15:35 手取川懸濁物の沿岸海域への影響 1

環境科学科 百瀬年彦・岡崎正規

15:35-15:50 手取川懸濁物の沿岸海域への影響 2

環境科学科 岡崎正規・百瀬年彦

食品科学科 本多裕司

15:50-16:10 土砂崩壊に伴う濁水が手取川扇状地の水循環に与えた影響

環境科学科 高瀬恵次・藤原洋一・長野峻介

16:10-16:25 質疑応答

16:25-16:30 閉会の挨拶

石川県立大学 環境科学科 学科長 岡崎正規

## 【会場案内】

石川県野々市市末松1-308

石川県公立大学法人 石川県立大学

第1大講義室 K219 (本キャンパス2F)

